

貸与者本人について
記入してください。

奨学資金貸与願書

記入上の注意

※ □の該当する事項に✓を付けること。

氏名	フリガナ 霧島 太郎	希望 貸与期間	令和9年 4月から 令和13年 3月まで(4年間)				
生年月日	平成〇〇年 〇月 〇日生(満〇〇歳)	貸与願書に関する確認の連絡先 本人との続柄：父 TEL：090-0000-0000 E-mail：000@00.jp					
家族住所	霧島市国分広瀬〇丁目〇〇番地〇 ☒ 持ち家 ☐ 借家(民間・市営) ☐ その他()						
申請区分	☐ 高校 ☐ 高専 ☒ 大学等 ☐ 大学院(修士課程) ☐ 大学院(博士課程)						
進学希望校	第一希望	☒ 国公立 ☐ 私立 〇〇学校 〇〇部 〇〇科 (☒ 自宅通学 ☐ 自宅外通学)					
	第二	〇〇学校 〇〇部 〇〇科 (☐ 自宅通学 ☒ 自宅外通学)					
	第三	〇〇学校 〇〇部 〇〇科 (☐ 自宅通学 ☒ 自宅外通学)					
令和8年 9月 1日時点の家族状況(別居者は、続柄欄に△印)							
続柄	氏名	年齢	生年月日	勤務先	在学学校名	学年	奨学金
1 父	霧島 一郎	47歳	S54.1.1	〇〇会社			貸与している奨学金の 金額
2 母	霧島 花子	43歳	S57.9.30	〇〇ストア			
3 本人	霧島 太郎	18歳	H20.4.1		〇〇高校	3年	円
4 姉	霧島 桜子	20歳	H17.11.1		〇〇大学	2年	霧島市奨学金 月額51,000円
5		歳					
6		歳					円
7		歳					円
減額申請	奨学資金の ☐ 減額を希望します(希望額 円) ☒ 減額を希望しません ※ 減額を希望しなかった場合でも選考会により貸与額は減額されることがあります。						
奨学金希望理由・ 家庭の生活状況	・別表1で貸与月額を確認し、希望する方に✓をつけてください。 ・減額を希望する場合は、貸与したい月額を記入してください。						
	なるべく奨学金貸与希望者本人が記入してください。						

以下の事項を同意の上、奨学資金の貸与を申請いたします。

(1) 奨学資金貸与願書の提出にあたり、応募に必要な資格を全て満たしていること。	☒ 確認済
(2) 奨学生の選考事務及び奨学資金の返還事務の実施にあたり、必要に応じ、本人を含む世帯構成員の居住状況、親子・親権関係、学生以外の所得状況及び市民税の課税状況、並びに市税・保育料等の納付状況を関係機関に照会し、調査すること。	☒ 同意する
(3) 奨学資金の返還事務において、弁護士法人へ債権徴収業務を委託すること及び当該業務に必要な範囲で個人情報を提供すること。	☒ 同意する
(4) 【申請区分で大学等に ☒ した方のみ対象】 大学入学資金の給付(京セラ福祉基金)の給付対象基準に該当する場合、当該基金への推薦を希望し、霧島市に提供した情報及び選考結果を京セラ福祉基金有効活用協議会へ提供すること。 (詳細は京セラ福祉基金(案内)参照)	☒ 同意する

令和8年 9月 30日

本人

住所
氏名
連絡先

大学等区分で、大学入学資金の給付を希望される方は、忘れずに☒をお願いします。

親権者又は後見人

住所
氏名
連絡先

霧島市国分広瀬〇丁目〇〇番地〇
霧島 一郎
090-0000-0000

親権者又は後見人

住所
氏名
連絡先

霧島市国分広瀬〇丁目〇〇番地〇
霧島 花子
090-0000-0000

連帯保証人予定者(保護者)

住所
氏名
連絡先

霧島市国分広瀬〇丁目〇〇番地〇
霧島 一郎
090-0000-0000

連帯保証人予定者

住所
氏名
連絡先

霧島市国分中央〇丁目〇番地〇〇
花山 里男
090-0000-0000

霧島市長 様

※奨学資金貸与願書には署名・押印は不要です。奨学生として採用が決定した後、「奨学資金採用誓約書」を提出いただく際、連帯保証人の実印及び印鑑証明書の提出が必要となります。

応募資格

- (1) 霧島市内に居住する者の子であること(令和9年4月1日現在)
- (2) 高校等、大学等、大学院に在学・進学(令和9年4月入学予定者を含む。)している者
- (3) 人物が優秀で、学習意欲(芸術・スポーツを含む。)が旺盛であり、修学困難と認められる者
- (4) 生計維持者の1年間の収入に基づく貸与額算定基準額が基準額以下の者
- (5) 市税等に滞納がない者